



2025年4月11日

各位

会社名 株式会社インターファクトリー
代表者名 代表取締役社長兼CEO 蕪木 登
(コード番号 4057 東証グロース)
問合せ先 取締役兼CFO 赤荻 隆
(TEL 03-5211-0086)

2025年5月期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向を踏まえ、2025年4月11日開催の取締役会において、以下のとおり、2024年7月11日に公表しました通期業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 当期の業績予想数値の修正 (2024年6月1日~2025年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 3,014	百万円 100	百万円 95	百万円 66	円 16.40
今回修正予想 (B)	2,832	180	175	125	31.06
増減額 (B - A)	△182	80	80	58	14.66
増減率 (%)	△6.0	78.9	82.8	89.4	89.4
(ご参考) 前期実績 (2024年5月期)	2,595	△24	△28	△31	△7.87

2. 修正の理由

クラウドコマースプラットフォーム事業に関しましては、市場におけるGMV（流通取引総額）は引き続き増加傾向にあり、当社におきましても既存店舗のGMVおよびPV数が堅調に推移し、システム運用保守売上については当初計画を上回り推移いたしました。一方で、システム受託開発案件につきましては、受注状況は改善しているものの、大型案件における売上の寄与が来期以降になる見込みであり、売上高が当初計画を下回る見込となっております。その結果、当初計画

における売上高予想 2,860 百万円に対し修正後の売上高予想は 2,598 百万円となっております。
また、製造原価につきましては、コスト管理及び業務効率化を徹底した結果、労務費や外注加工費が当初計画を下回って推移し、当初計画における売上総利益予想 1,077 百万円に対し、修正後の売上総利益予想は 1,160 百万円となっております。

E Cビジネス成長支援事業につきましては、E C事業の成長を戦略立案から実務まで一貫通貫で支援するサービス「EBISU GROWTH（エビスグロス）」の引き合いが好調であり、当初計画における売上予想 133 百万円に対し、修正後の売上予想は 232 百万円となっております。

データ利活用プラットフォーム事業につきましては、商品データ統合プラットフォーム「EBISU PIM（エビスピム）」のリリースが予定より遅れたため、当初計画における売上予想 20 百万円に対し、修正後の売上予想は 2 百万円となっております。

全社における販売管理費につきましては、主に広告宣伝費が計画より下回って推移しており、当初計画における予想 1,041 百万円に対し、修正後の予想は 1,016 百万円となっております。

この結果、売上高については、当初計画を下回ることになった一方で、製造原価及び販売管理費が計画を下回り、営業利益及び経常利益、当期純利益が当初計画を大きく上回る見込みとなったため、2025 年 5 月期の業績予想を上記のとおり修正することといたしました。

※上記の予想は本資料の発表日現在において、入手可能な情報に基づき算定しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上